

＜ながしん＞地域密着型金融の取組状況について
(平成26年4月～平成27年3月)

地域密着型金融は、当金庫が協同組織金融機関としての使命を果たすための業務活動の根幹であることから、「3か年経営計画」において取り組むべき重点課題を明示し、具体的な施策については毎年度「事業計画」を策定し、PDCA管理のもと推進を図っています。

なお、平成26年度は、3か年経営計画「ながしん『つなぐ力』発揮2012～地域の課題解決と持続的発展をめざして～」の最終年度として、重点課題である「永続性のある経営の確立」、「課題解決型金融の強化」、「内部管理態勢等の充実」の着実な進展に取り組み、お取引先をはじめ地域の皆さまとの更なる連携強化を図りながら、地域の活性化、持続的発展に努めました。

特に、「地域密着型金融」に関わる

1. 顧客企業等に対するコンサルティング機能の発揮
2. 地域の面的再生への積極的な参画

における取組状況は、別紙のとおりです。

[別紙]＜ながしん＞地域密着型金融の取組状況(平成26年4月～27年3月)

〈ながしん〉地域密着型金融の取組状況(平成 26 年 4 月～27 年 3 月)

1. 顧客企業等に対するコンサルティング機能の発揮

当金庫は、地域との運命共同体である協同組織金融機関として、創業以来一貫して各々のライフステージにおける取引先に対し、最適なソリューションの提案等、持続可能な地域づくりに努めています。

(1)「しが新事業応援ファンド」活用による新規事業支援

- ・(財)滋賀県産業支援プラザが中小企業者等に助成するファンド
- ・地元特有の資源、技術を活かした新しい産業の育成支援
- ・平成 20 年 12 月創設、当金庫 15 百万円拠出(総額 40 億円)
- ・採択事業…平成 27 年 3 月現在、湖北管内で 25 社決定

(2)日本政策金融公庫との創業分野における連携スキームの構築

県内3信用金庫と日本政策金融公庫との間で、平成 25 年 11 月、顧客の創業期におけるサポートについて連携契約を締結するとともに、創業計画策定、協調融資等を通じて、創業分野での支援体制を強化。 平成 26 年度取扱実績 4 件 22 百万円

- ・新規創業以外の日本政策金融公庫との協調融資
平成 26 年度取扱実績 7 件 148 百万円
- ・当金庫独自の新規創業支援案件 平成 26 年度取扱実績 4 件 12 百万円

(3) 医療・介護分野に対する支援

- ・医療分野への新規融資 平成 26 年度取扱実績 8 件 95 百万円
- ・介護分野への新規融資 平成 26 年度取扱実績 5 件 29 百万円
- ・滋賀県医師協同組合提携融資「ドクタープラチナム」の取扱開始(平成 26 年 4 月)

県内3信用金庫及び京都中央信用金庫と滋賀県医師協同組合が連携し、同組合員の開業資金他、設備・運転資金を支援。 平成 26 年度取扱実績 2 件 18 百万円

(4)「長浜市ビジネスチャレンジ相互連携協定」の締結

長浜市、長浜ビジネスサポート協議会と、長浜市内に店舗を持つ当金庫・滋賀銀行・大垣共立銀行・関西アーバン銀行とが、創業支援や地場産業の活性化に向けて平成 26 年 6 月に協定を締結。本協定に基づく事業の第 1 弾として、ながはまグローバルチャレンジ応援事業を実施。創業支援事業者に対し経費の一部が補助される。

平成 26 年度 1,000 万円の予算計上に対し 7 件の申請があり、内 6 件が採用された。

(5) 農林漁業成長産業化ファンド(しが農林漁業成長産業化投資有限責任組合)の設立
(平成 26 年 9 月)

地域の農林水産業の発展による地域経済の活性化をめざし、6次産業化に取り組む取引先への出資とともに、新たな加工や流通につながる農林漁業の生産性向上に向けた総合的サポートを行う。当金庫 10 百万円を限度に拠出予定。

(6) 再生可能エネルギー関連に対する支援

- ・ 太陽光発電他 平成 26 年度取扱実績 14 先 851 百万円

(7) 景気対応緊急融資への取組み実績(平成 26 年度)

- ・ 「県制度融資セーフティネット保証」 実行額 37 件 440 百万円
- ・ 「経営安定関連保証資金」 実行額 4 件 49 百万円

(8) 経営改善支援への取組み実績(平成 26 年度)

- ・ 今年度新規経営改善支援取組先 6 先 (平成 15 年 4 月からの累計実績 123 先)
- ・ 滋賀県中小企業再生支援協議会の活用 3 先
- ・ 当金庫独自経営改善支援取組先 5 先
- ・ 経営サポート会議の活用 15 先(16 回)
- ・ 定期的なモニタリングとして、70 先、延べ 160 回実施
- ・ 「経営革新等支援機関」としての支援実績
 - 起業・創業補助金申請にかかる事業計画書の検証および手続き支援 10 件
 - 中小企業、小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金 1 件
 - 経営改善支援センター事業の利用申請にかかる支援 10 件

(9) 販路拡大支援への取組み

信金中央金庫を通じたビジネスマッチング

- ・ 大阪産業創造館における「食のマッチング」 参加企業 4 社
- ・ (株)イプロスの技術データベースサイトを利用した取引拡大支援 参加企業 5 社
- ・ (株)セブンイレブン・ジャパンとのマッチング 参加企業 3 社

(10) 「ながしん経営塾」の開催

- ・ 平成 20 年 1 月より開催

目的： 経営者の研修および異業種交流(会員制)

講師： 川嶋総合会計 等

平成 25 年開催実績	年 5 回開催	受講者数 35 名
平成 26 年開催実績	年 5 回開催	受講者数 36 名
平成 27 年開催計画	年 5 回開催	受講者数 41 名



(11) 金融サービスの提供

- ・ 年金相談会

全店舗、年 2 回実施(平成 2 年より実施)

25 年 4 月～26 年 3 月実績 28 回 382 人

26 年 4 月～27 年 3 月実績 28 回 410 人

- ・ <ながしん>プラザ (各種ローン等についての休日相談会)

[平成 17 年 10 月より毎週日曜日「やわた中山支店」で実施]

25 年 4 月～26 年 3 月実績 50 回 53 先

26 年 4 月～27 年 3 月実績 50 回 33 先



(12) 「経営革新セミナー」の開催

- ・ 平成 15 年(当金庫創立 80 周年)より開催

- ・ 平成 26 年度

開催日 : 平成 26 年 11 月 14 日

講師 : ファイナンシャルプランナー 西山 彰子 氏

テーマ : 「the 起業」 ～創業・新事業の立上げについて

参加者 : 48 名



2. 地域の面的再生への積極的な参画

持続的な地域貢献を念頭に置き、金融にとどまらず情報、ノウハウ、人材等の提供を通じて、地方公共団体・経済団体等との連携強化を図りながら、地域活性化に努めています。

(1)「長浜市中心市街地活性化基本計画」への参画

- ・ 長浜市において、「長浜市中心市街地活性化基本計画」立案に向けた各種委員会が組成され、当金庫役職員が委員に就任し、基本計画書の素案作りに携わる(平成 18 年 1 月)。
- ・ 長浜商工会議所等経済団体において、「中心市街地活性化協議会」が設立され、理事長および当金庫職員が委員として参画(平成 20 年 1 月)し、平成 21 年 6 月に「長浜市中心市街地活性化基本計画」の内閣府認定を受ける。
- ・ 計画の実施機関として「長浜まちづくり株式会社」(第三セクター)設立。当金庫は発起人として出資(5 百万円)し、理事長が取締役に就任(21 年 8 月)。
- ・ 長浜駅周辺地区、および商店街のまちづくりに向けて、中小企業基盤整備機構による「診断サポート事業」が実施され、駅前まちづくり会社設立準備に理事長が参画。
- ・ 「第一期長浜市中心市街地活性化基本計画」が平成 26 年 3 月で終了し、黒壁のリニューアルをはじめ中心市街地の整備が行われたほか、更なるコンパクトシティを目指し、「第二期長浜市中心市街地活性化基本計画」の策定が協議会で承認された。また 3 月 28 日に内閣府認定を受け、平成 31 年 3 月までの 5 年間に 26 の事業および措置の実施に向けて始動。その後、「曳山ユネスコ推進事業」等が追加される予定。
- ・ 山組「諫鼓山」の町屋の改修工事が中心市街地活性化事業として承認され、伝統文化の伝承とシニアのサロンから子育て支援事業による活用と駐車場機能を有した複合施設の建設が、町衆により進められる。
- ・ 駅周辺整備については、長浜駅東地区について長浜市及び商工会議所主導により「えきまち長浜(株)」が設立され、当金庫も出資。また長浜駅南地区は、駅ビルと直結する商業施設が平成 27 年 1 月オープン。
- ・ まちなか居住人口の推進事業「町屋再生バンク実践プログラム」により、大型町屋のリノベーションによるシェアハウスをオープンさせ、今後、地域内町屋 71 軒への対応を進める。

(2)「長浜市産業振興ビジョン」、「長浜ビジネスサポート協議会」への参画

- ・ 長浜市において、地域特性を活かした中長期的な産業振興戦略を立案するため、市長の諮問機関として長浜市・経済諸団体・有識者で「長浜市産業振興ビジョン懇話会」を設置(平成 23 年 5 月)。当金庫から、懇話会委員およびワーキングチーム委員として参画し、地域産業のあり方、その方向性と具体的施策について検討。
- ・ 平成 24 年 4 月、パブリックコメントとして市民の意見を求めた後、5 月に「長浜市産業振興ビジョン」を策定。これに基づく「長浜スタイルで拓くグローバル産業都市(四半世

紀後の目指すべき都市・産業の姿」を実現するため、平成 28 年度までの 5 か年の目標と施策を策定。

- ・ ビジョンの推進にあたって、平成 24 年 6 月に「長浜ビジネスサポート協議会」が長浜商工会議所と市内 8 商工会との連携により設立され、当金庫からも各種研究機関や他の市内金融機関とともにアドバイザーとして参画。
- ・ 創業や事業立ち上げに関する知識・ノウハウを学べる場として、平成 26 年 7 月に、長浜市創業支援事業計画（経済産業局・総務局・近畿農政局認定）に基づき、長浜ビジネスサポート協議会の主催による第 1 期「ながはま・こほく創業塾」が開講され、46 名が受講。（10 月から新たに 37 名の参加により第 2 期がスタート）

(3)「ながしん講演会」の開催

- ・ 平成 5 年（当金庫創立 70 周年）より開催
- ・ 平成 26 年度
開催日 : 平成 26 年 11 月 27 日
講師 : ジャーナリスト 櫻井 よしこ 氏
テーマ : 「この国の行方」 ~ 日本のあるべき姿 ~
参加者 : 395 名

